

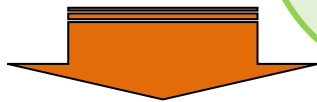
食事編⑪

一口量が多い子って



どんな時？こんな理由かな？

- 一口の適量がわからない。
- たくさん口に詰め込んだ方が、食べていることがわかりやすい。
- ▲ 上手にすくえないので沢山すくって口に入れてしまう。
- ★ 目の前に食べ物があるとどんどん口に入れてしまう。
- ◎ かじり取ることができない。



こんな支援が助かります！

- スプーンなどに適量をのせてみせる。少量ずつ皿に取り分けて食べながら、一口量を伝える。
具体的に一口の量がのっているスプーンを見本として注目しやすいところに置いておく。
- ★食べ物を少しずつ取り分けて一口量を大人が加減する。
- ▲ スプーンや食器を扱いやすい物に工夫する。食材をすくいやすいよう細かく切って出す。
「食事編⑧ 食器に顔を近づけて、前かがみの姿勢で食べる子って」を参照。
- ◎ 大人が手を添えながら、かじり取る量を加減して食べる。

食事のヒント

- ・「食事編① 手づかみ食べが多く、食具を使わない子って」の食事のヒントも参考にしましょう。
- ・「食事編③ よく噛まない子って」の食事のヒントも参考にしましょう。
- ・大人が適量を食べたり、かじり取る見本を見せ、お子さんができたらほめましょう。